

令和7年度 学校関係者評価

旭市立第二中学校

1 学校教育目標

2月27日実施 学校運営協議会委員11名のうち、学校職員2名を除く9名による評価(1名欠席)

夢を抱き、主体的に逞しく生きる生徒の育成

2 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

3月8日実施 学校運営協議会委員11名のうち、学校職員2名を除く9名による評価

学校による自己評価の評価基準 : A(満足できる:肯定的評価85%以上)、B(ほぼ満足できる:肯定的評価70~85%)

C(やや努力が必要である:肯定的評価50~69%)、D(努力が必要である:49%以下)

学校関係者評価の評価基準 : A(適切である) B(ほぼ適切である) C(やや不適切である) D(不適切である)

分野・領域	評価項目	肯定的な回答 (%)	自己評価	考察と改善に向けた取組	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校運営 教育課程	保: お子様は、学校に行くのを楽しみにしている。	88.3	A	「学校に行くのを楽しみにしている」という項目について、保護者と職員と生徒ともに、肯定的な回答が高く、昨年度と比較しても大幅に向上しています。特に、生徒については、前年度比+14.1ポイントとなっています。 学校教育目標については、昨年度の目標を継続しています。保護者に向けて学校だより第1号でもお知らせしました。また、職員には、第1回職員会議で校長より示され、教育目標に向けて教育活動を進めているため、当然のことではありますが、職員は肯定的な意見のみとなっています。「わからない」という保護者の回答が9.3%(昨年度10.6%)ありました。次年度は学校だよりのタイトル欄に教育目標を常に掲げるなどして、保護者への周知をすすめ、保護者・職員が同じ目標に向かって子どもたちを育てていけようと思います。 学校行事については、昨年度に引き続き、高評価となっています。コロナ禍を終え、約3年が過ぎ、行事の運営も軌道に乗ってきました。行事の内容や質についても改善してきた成果だと考えます。引き続き、学校行事を中心に学校公開を進め、本校の良さを保護者や地域の皆さんに理解していただけるように努力していきます。	A 9名 B 0名 C 0名 D 0名	A 9名 B 0名 C 0名 D 0名
	職: 生徒は学校に行くのを楽しみにしている。	98	A			
	生: 学校に行くのが楽しみだ。	87	A			
	保: 教育目標は、生徒の実態に即し、誰にでもわかりやすくなっている。	85.3	A			
	職: 教育目標は、生徒の実態に即し、誰にでもわかりやすくなっている。	100	A			
	保: 学校は行事を適切に設定し、有意義なものになるように工夫している。	93.7	A			
	職: 学校は行事を適切に設定し、有意義なものになるように工夫している。	100	A			
	生: 学校行事は楽しく、充実している。	95.9	A			
学校関係者による 意見等	「わからない」と回答されている方が気になるため少し個別に回答を頂いた方がよい。その中に小さな問題があれば少しでも不安をなくすようにした方がよい。					
学習指導 家庭学習	保: 学校は学力の向上に努めている。	83.2	B	学力向上に向けては、概ね高評価と言えます。保護者の回答はB評価ではあるものの過去3年間の平均と比較して+3.9ポイントとなっています。今年度、新たに読解力向上に向けて「よむYOMUワークシート」に取り組んでいます。複数の資料から読み解く必要がある出題となっており、現在、求められている学力を養う教材であるため、次年度はさらに有意義に活用できるように教育課程を工夫していきます。 家庭学習については、昨年度と同程度の評価となっています。各学年の発達段階にあわせて、学習のしかた等の指導や宿題の在り方を工夫していますが、家庭学習の習慣は、個人差や家庭の考え方に差がある項目だと考えます。保護者からの自由記述では、テスト前の課題が多すぎる等のご意見もありました。職員の回答が昨年度比-11ポイントとなっていますが、多様な生徒の実態に対して、対応しきれない部分もあると考えます。各授業担当者から、題材毎に課題を出したり、細かいスパンで課題を出すなどして、着実に授業内容の定着を目指していきたいと思います。 キャリア教育については、昨年度に引き続き、高評価となっています。しかし、生徒の回答については、昨年度に引き続き、高評価となっています。今年度は、2学年で職場体験に代わる学習として、進路学習会(高校を知る学習)を実施しました。また、今年度は特別にANA Career Flight(空港で働く職業の講話と体験)も実施しました。1年生では、例年どおり、職業人と語る会を実施しています。これらの学習を中心に、生徒の実態に合わせて、事前指導と事後指導も充実させ、「夢を育む」教育を推進していくべきだと考えます。 読書の習慣については、唯一のD評価だった項目となりました。昨年度に引き続き、最も課題のある項目となってしまいました。読解力向上に向けての取組であるよむYOMUワークシートを水曜の朝に導入したため、朝の読書の時間は週4日となっています。家庭では、課題とスマホで時間を使いきっている現状もあると思われます。新たな本との出会いをつくる取組が必要だと考えます。図書室開放時間の周知、学校図書への貸し出しの励行、授業での図書室の利用、図書館司書による取組など、本と出会う時間を生み出せるようにしていきます。また、ドリームテラズによる読み聞かせについても、継続していただきたいと思います。 ICTの活用については、学校生活アンケートをタブレットで実施するなど、授業以外での活用も進めました。また、若手職員を中心に積極的にICTを活用した授業づくりを進めている職員もいます。英語、数学、社会では、教師用のデジタル教科書を活用しています。保護者の結果がCとなっているが、「わからない」と回答している割合が21%もいるためだと考えます。令和7年12月より校内のネットワークが大幅に改善されたため、活用しやすい状況になりました。令和8年4月からは、生徒用のタブレットも更新されるので、より活用を進めていく予定です。	A 7名 B 2名 C 0名 D 0名	A 4名 B 5名 C 0名 D 0名
	職: 学校は学力の向上に努めている。	96	A			
	生: 学力向上を目指して、授業に意欲的に取り組んでいる。	85.3	A			
	保: 学校は、家庭学習の習慣が身につくよう支援している。	71.6	B			
	職: 学校は、家庭学習の習慣が身につくよう支援している。	73	B			
	生: 家庭学習の習慣が身についている。	68.6	C			
	保: 学校は、生徒の自己実現に向けた支援や進路指導を適切に行っている。	81	B			
	職: 学校は、生徒の自己実現に向けた支援や進路指導を適切に行っている。	95.8	A			
	生: 将来の進路を考え、その実現を目指して努力している。	72.2	B			
	保: お子様は落ち着いた学習に取り組んでいる。	71.9	B			
	職: 生徒は落ち着いた学習に取り組んでいる。	91.7	A			
	生: 落ち着いた学習に取り組んでいる。	88	A			
	保: お子様は読書の習慣が身についている。	33.8	D			
	職: 生徒は読書の習慣が身についている。	65	C			
	生: 読書の習慣が身についている。	52.3	C			
保: 学校はICT機器を活用し、授業の充実に取り組んでいる。	68.8	C				
職: 学校はICT機器を活用し、授業の充実に取り組んでいる。	63	C				
生: 学校生活の中で、ICT機器を活用している。	83.6	B				
学校関係者による 意見等	ICTについては、教科の特性で使いやすい、使いにくいがある。また、授業の充実という何ができれば充実と言えるのかが分かりにくい。 「家庭学習の習慣が身につく」というのは、何を身につけたと言えるのかが、はっきりしていないので、回答にバラツキがでると思う。 読書については、読書週間などを作って貸し出しが多く、読んだ子に努力賞などを作ってみたい、一番読書をしている子の名前を張り出してみたいなど、競争意識を図ってみたいのがある。					
生徒指導 教育相談 特別支援	保: 生徒は明るい挨拶やしっかりとした返事ができている。	82.5	B	昨年度に引き続き、「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」という問いでは17.1%、「学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている」という問いでは26.0%の保護者の方が「わからない」と回答していたことが、肯定的評価が少なくなる結果につながったと考えます。しかし、全国学力・学習状況調査の生徒質問紙では、「(6)先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「(9)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「(10)困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「(14)友達関係に満足していますか」の質問に対して、本校3年生の回答は全国や千葉県と比較して、肯定的な意見の割合が多い状況でした。月1回の生活アンケートをはじめ、教育相談など、SOSを出せる生徒の育成を目指して取り組んできたことは結果に現れていると考えます。 引き続き、学校だよりや学年だよりを通じて、本校の取組を理解していただけるように努めます。 生徒の挨拶や返事を課題だと感じている職員は昨年度よりも少なくなったものの、比較的多くいます。生徒の自己評価とのギャップがある項目です。職員自らが気持ちの良い挨拶や返事をおこない、生徒もより良い挨拶や返事が自然とできるような環境をつくっていききたいと思います。	A 7名 B 1名 C 1名 D 0名	A 8名 B 1名 C 0名 D 0名
	職: 生徒は明るい挨拶やしっかりとした返事ができている。	68.8	C			
	生: 明るい挨拶やしっかりとした返事ができる。	92	A			
	保: 学校は基本的な生活習慣の向上に努めている。	90.7	A			
	職: 学校は基本的な生活習慣の向上に努めている。	87.2	A			
	生: 服装や時間など、学校生活のきまりを守って生活している。	95.2	A			
	保: 学校は生徒の相談に対し、適切に対応している。	80.6	B			
	職: 学校は生徒の相談に対し、適切に対応している。	95.7	A			
	生: 自分のことを理解してくれる先生や相談しやすい先生がいる。	90.6	A			
	保: 学校は生徒のことをよく理解し、適切に対応している。	82.1	B			
	職: 学校は生徒理解に努め、適切に対応している。	95.8	A			
	生: 先生は生徒のことをよく理解し、適切に対応している。	93	A			
	保: 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	73.8	B			
	職: 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	91.3	A			
	生: 差別なく、いじめや人の嫌がることをしないようにしている。	95.9	A			
保: 学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている。	68.8	C				
職: 学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている。	78.7	B				
生: 学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている。	88.4	A				
学校関係者による 意見等	学校だよりや学年だよりについては、担任の先生等と直接お話しすることも少ないので、校外では感じにくい項目なので、より一層努力をしていただきたいです。 1年生の挨拶は、まだまだかなと思われることもある。部活動の試合などを見に行ったときは、なるべく自分から挨拶するようにしています。					
健康管理 安全管理 部活動	保: 学校は生徒の健康管理、体力の向上に十分取り組んでいる。	87.9	A	過去3年間等と比較しても高い評価となりました。しかし、保護者からの自由記述では、生徒の自転車の乗り方について、多くの意見をいただきました。交通安全教室やPTA校外活動の登校指導、一斉下校時の職員による下校指導などを実施していますが、危ない場面が依然としてある状況です。交通安全については、保護者や地域の方々から教えていただいたヒヤリハットを全職員で共有し、各学年で生徒に分かるように伝え続けていきます。また、インターネット上の安全については、次年度は一斉のネット安全教室ではなく、学年毎の発達段階にあわせた指導となるように工夫していきます。	A 9名 B 0名 C 0名 D 0名	A 8名 B 1名 C 0名 D 0名
	職: 学校は生徒の健康管理、体力の向上に十分取り組んでいる。	100	A			
	生: 健康管理や体力の向上に十分取り組んでいる。	89.1	A			
	保: 学校は登下校や学校生活の安全管理、指導に十分取り組んでいる。	84.8	B			
	職: 学校は登下校や学校生活の安全管理、指導に十分取り組んでいる。	97.9	A			
	生: 学校は登下校や学校生活の安全管理、指導に十分取り組んでいる。	95	A			
	保: 部活動の練習内容や日程、活動時間等、運営は適切に行われている。	80.4	B			
	職: 部活動の練習内容や日程、活動時間等、運営は適切に行われている。	93.8	A			
生: 部活動の練習内容や日程、活動時間等、運営は適切に行われている。	90.8	A				
学校関係者による 意見等	部活動の地域移行の話があるので、部活動について不安をもっている子が多いと思います。もう少し、見通しをたてられると良いかなと思います。 自転車の乗り方や道路のルールなどは、専門の方の指導を受けた方がよい。インターネットの指導はよいと思います。					
保護者・地域との 関わり	保: 学校は、保護者に対して誠実に対応し、訪問しやすい雰囲気になっている。	90.2	A	過去3年間の平均と比較して、すべての保護者の肯定的意見の割合が高くなっています。今年度の体育祭は、部活動リレーも実施することができ、予定通りにプログラムを進めることができました。PTAの協力をいただくことで、実施可能となったり、生徒の様子を写真に収めることができました。 また、地域学校協働活動では、「子どもたちを地域で活躍させる」ことを目指して、紫援隊の皆さんに協力いただき、3つのボランティア活動を実施することができ、新たな形での教育活動が軌道に乗りました。今後も家庭や地域との連携を大切にし、教育活動を進めていきます。	A 9名 B 0名 C 0名 D 0名	A 9名 B 0名 C 0名 D 0名
	職: 学校は、保護者に対して誠実に対応し、訪問しやすい雰囲気になっている。	97.9	A			
	保: 学校は保護者の意見を参考にしながら、改善に努めている。	81.8	B			
	職: 学校は保護者の意見を参考にしながら、改善に努めている。	97.9	A			
	保: 学校とPTA、地域との連携が図られている。	76	B			
	職: 学校とPTA、地域との連携が図られている。	98	A			
	保: 学校は保護者に適切な情報をわかりやすく伝えている。	81.8	B			
職: 学校は保護者に適切な情報をわかりやすく伝えている。	97.9	A				
学校関係者による 意見等	体育祭など楽しく参加できました。					